

学生支研第18-05号  
2018年6月15日

日本私立大学連盟加盟大学  
学 長 各位  
学生センター長 各位  
学 生 部 長 各位

一般社団法人日本私立大学連盟  
学生生活支援研究会  
代表幹事 荒川 拓也  
(公印省略)

### 「2018年度 学生生活支援研究会 夏期合宿研究会」開催について（ご案内）

拝啓 青葉の候、貴学ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当研究会に対しましてご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当研究会では、学生支援業務の充実・改善を図るための研究活動を展開しています。

その研究活動の一環として、今年度も、夏期合宿研究会を下記の日程で開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

当合宿研究会では、「課外教育活動支援」、「心と身体の健康」、「奨学金等福利厚生」、「総合問題」の4つのグループに分かれて行う研究会をはじめ、今年度は「危機管理」をテーマとした特別講演会および情報交換会等を実施します。2011年の東北地方太平洋沖地震、2016年の熊本地震において日本は未曾有の事態に見舞われ、各大学でもその対応に追われたかと存じます。今後、首都直下型地震は30年以内に高い確率で発生するといわれ、首都圏を中心に甚大な被害となることが想定されています。被害を最小限に抑えるためにも、大学として何ができるのか、学生生活支援の観点から、危機管理の在り方について多くの他大学教職員と情報交換を行っていただき、本研究会によって形成される人的ネットワークを各々の業務に活かすことを目的とします。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、学生生活支援業務に関わっておられる貴学職員の皆様へのご周知をお願い致します。なお、当合宿研究会は登録会員の皆様はもとより、非会員の皆様も参加可能なオープン開催としております。多数の方々にご参加いただけますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

#### 記

- 1.開催期間 2018年8月22日（水）～8月24日（金）  
(タイムテーブルは別紙1を参照ください)
- 2.会 場 東北学院大学 土樋キャンパス  
集合場所：東北学院大学ホーイ記念館 H304教室  
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1  
(アクセス)
  - ・JR「仙台駅」から徒歩約20分
  - ・地下鉄南北線「五橋駅」または「愛宕橋駅」から徒歩約5分
  - ・バス停「五橋駅」から徒歩約5分

3. 宿泊先           アパヴィラホテル仙台駅五橋  
〒984-0022 宮城県仙台市若林区五橋 3 丁目 1-1   0570-023-111  
[https://www.apahotel.com/hotel/touhoku/04v\\_sendai eki-itsutsubashi/](https://www.apahotel.com/hotel/touhoku/04v_sendai eki-itsutsubashi/)
4. 参加対象        学生生活支援業務にかかわる教職員  
                    (宿泊を伴い、3 日間の全プログラムに参加いただける方を対象とします。)
5. 参加定員        80 名 (先着順)
6. 参加費           33,000 円  
                    ※参加費にはホテル宿泊代 (2 泊) のほか、8 月 22 日夕食、8 月 23 日  
                    朝食、8 月 23 日昼食、8 月 24 日朝食の代金が含まれています。
7. 開催概要        タイムテーブルは別紙 1 をご参照ください。主要な企画は次の通りです。

1) グループ研究会①②③

以下 4 つのグループに分かれて計 3 回の研究会を行います (詳細は別紙 2 を参照)。

- |                 |
|-----------------|
| A グループ：課外教育活動支援 |
| B グループ：心と身体の健康  |
| C グループ：奨学金等福利厚生 |
| D グループ：総合問題     |

※当研究会非会員の方は別紙 2 をご参照の上、参加グループを選択してください。

2) テーマ企画

講 演：「大学における避難者・帰宅困難者対応図上訓練

～学生・職員・避難者の安全安心を確保する初動対応～」

講演者：宮崎賢哉氏 (防災教育普及協会事務局長)

3) 特別講演

講 演：「経験と帰心 ―学生ボランティアのその先の問題―

講演者：佐々木俊三氏 (東北学院大学災害ボランティアステーション初代所長、  
同大学元副学長、同大学元学長室室長、同大学名誉教授)

4) 特別企画 (講演+パネルディスカッション)

講 演：「被災地域における大学・学生ボランティアの試み」

登壇者：伊鹿倉正司氏 (東北学院大学災害ボランティアステーション所長、  
同大学経済学部教授)

其田 雅美氏 (東北学院大学学長室地域共生推進課)

東北学院大学災害ボランティアステーション学生スタッフ

8. 事前学習        特別企画 (パネルディスカッション) の開催にあたり、より充実したディス  
                    カッションを行うため、参加者の皆様が所属する各大学の防災や災害時対応、  
                    ボランティア対応等に関する独自の取り組みについて、概要をまとめておい  
                    てください。ディスカッションの際にコメントをいただく場合があります。  
                    (※事前レポートや資料の提出等はありません)

- 9.参加申込 下記のインターネット上の申込フォームより送信をお願いいたします。  
(申込フォーム) 学生生活支援研究会ホームページ (<http://slsw.jp/>) に  
アクセスし、「夏期合宿研究会」を選択  
(入力項目) 参加者氏名、勤務先大学、所属部署、勤務先住所、連絡先メ  
ールアドレス、喫煙の有無、当研究会会員登録の有無 等  
(申込期間) 6月20日(水)～7月13日(金) 17:00  
※一大学より複数名ご参加の場合も、お一人ずつ送信をお願いいたします。  
※送信完了後、10日以内に受付完了メールを送信いたします。

- 10.参加費納入 会員一人につき33,000円を 7月20日(金)までに下記口座へお  
振込みください。

(振込先)

銀行名 三菱東京 UFJ 銀行(銀行番号:0005)  
支店名 市ヶ谷支店(店番号:014)  
口座番号 普通預金 1284691  
口座名 社団法人 日本私立大学連盟 学生生活支援研究会  
シャ)ニホンシリツダイガクレンメイガクセイセイカツシエン  
ケンキュウカイ

※納入された参加費は原則として返金いたしません。

※振込手数料は貴学でご負担ください。

- 11.問い合わせ ご不明な点は下記までお問い合わせください。  
(学生生活支援研究会夏期合宿担当幹事メールアドレス)  
[slswsummercamp2018@gmail.com](mailto:slswsummercamp2018@gmail.com)

以上

## 2018年度 学生生活支援研究会 夏期合宿研究会タイムテーブル（予定）

8/22(水) 会場:東北学院大学土樋キャンパス

時間	内容
12:30 ~ 13:15	受付
13:15 ~ 13:30	開会式、事務連絡
13:30 ~ 15:50	テーマ企画(講演会) 宮崎 賢哉氏(防災教育普及協会 事務局長)
16:00 ~ 17:30	グループ研究会① A~Dグループに分かれて開催
17:30 ~ 18:30	グループ別行動。ホテルチェックイン 又は 情報交換会会場へ直接集合
18:30 ~ 20:30	情報交換会(懇親会) レストラン&カフェ「MEINA(メーナ)」にて開催
	解散

8/23(木) 会場:東北学院大学土樋キャンパス

時間	内容
9:30 ~ 10:50	東北学院大学土樋キャンパス キャンパスツアー
11:00 ~ 13:00	特別講演(講演会) 佐々木俊三氏(東北学院大学名誉教授)
13:00 ~ 13:45	昼食
14:00 ~ 16:00	特別企画(講演+パネルディスカッション) 「被災地域における大学・学生ボランティアの試み」
16:00 ~ 17:30	グループ研究会② A~Dグループに分かれて開催
	終了後、A~Dグループごとに懇親会開催

8/24(金) 会場:東北学院大学土樋キャンパス

時間	内容
9:30 ~ 11:30	グループ研究会③ A~Dグループに分かれて開催
11:40 ~ 12:30	全体発表会、閉会式、事務連絡

## グループ研究会①②③

下記 4 つのグループに分かれて計3回のグループ研究会を行います。会員登録をされていない参加者の皆様は、各グループの紹介文をご参照いただき、所属するグループを選択してください。なお、会員の皆様は今年度所属されているグループでの参加となります。

グループ名	テーマ紹介(案)
<b>Aグループ</b> <b>課外教育活動支援</b>	<b>課外活動支援の現状と諸課題について</b> 当研究会では、多様化する課外活動支援の実態を各回のテーマに基づいて共有し、現状抱えている支援課題を明らかにしていきます。とりわけ、課外活動団体の管理運営や施設運用、飲酒・喫煙・熱中症・キャンパスルール・マナーなど学生の安心安全に関する問題への対処や啓発、学園祭や諸行事、地域社会連携の取り組み等をテーマにします。課外活動支援は非常に範囲が広く、この場のみで議論を尽くせるものではありませんが、参加者間のコミュニケーション、ネットワーク形成を重視しその後の業務交流の橋渡しをおこないます。
<b>Bグループ</b> <b>心と身体の健康</b>	<b>今日、求められる学生支援、学生相談とは</b> 参加大学の事例発表や参加者間の意見交換を通して「今日、求められる学生支援、学生相談」について考えていきます。昨今、国籍を問わず様々なこころの問題を抱えた学生が増えている状況だと思われます。そのような「学生の心と身体の健康」について意見交換を行うと共に、参加大学からの事例発表を通して、多様化する学生への支援について情報交換を行います。人数の少ないグループですので、コミュニケーションを大事にしながら内容の濃い活発な議論を行いたいと思います。
<b>Cグループ</b> <b>奨学金等福利厚生</b>	<b>奨学金業務の現状と問題点について</b> 今年度Cグループでは、日本学生支援機構の貸与型奨学金、給付型奨学金業務の現状や課題について参加者全員で情報・意見交換を行い、奨学金業務における共通認識をはかるとともに問題解決策について議論します。 また、研究会をとおして、日々の業務に活かせる人的ネットワークを築くことを重視し、交流・親睦を深めていきます。
<b>Dグループ</b> <b>総合問題</b>	<b>学生生活支援における諸課題への対応</b> 今年度Dグループでは、学生生活支援における諸課題について各大学からの事例報告を通じて情報の共有化と問題解決の糸口を探るための意見交換を行っています。 内容としては、私たちが業務遂行上直面している課題、学生を取り巻く環境の中で起こる課題すべてが対象となります。夏期合宿においても、事例発表や意見交換を中心に、現代の学生生活支援業務を行う上で生じる諸課題について、理解を深めていきたいと考えています。